

## 鳥島におけるアホウドリ保護増殖事業について

### 1. 背景

鳥島におけるアホウドリの保護増殖事業については、前回(平成21年9月)の分科会で、以下の方針について了承いただいた。

- ① 燕崎及び初寝崎でのモニタリングにより、昨年度も順調な繁殖が確認されているため、今年度も2～3月期に1回のモニタリングを行う。なお、初寝崎の雛へは引き続き4月～5月に足環を装着する(長谷川教授)。
- ② 鳥島では極力人為を排除して観察を続ける方針とするが、特に燕崎繁殖地の土砂流入の状況と繁殖への影響等について注意深くモニタリングを行い、繁殖環境の維持・改善のための事業再開の必要性が高まったと判断される場合には、分科会委員に諮り、対応の必要性等を検討する。

### 2. 実施結果

#### (1)モニタリング事業

実施期間：平成22年2月2日～2月18日(17日間)

実施結果概要：

- ・ 確認ヒナ数は、燕崎で279羽、初寝崎で45羽、子持山南斜面で4羽、合計328羽となり、前年の310羽より18羽増加した。着実に増加し調査開始以降最多となった(図1)。このうち燕崎のヒナ15羽を2月8日に小笠原鷺島へ移送した。

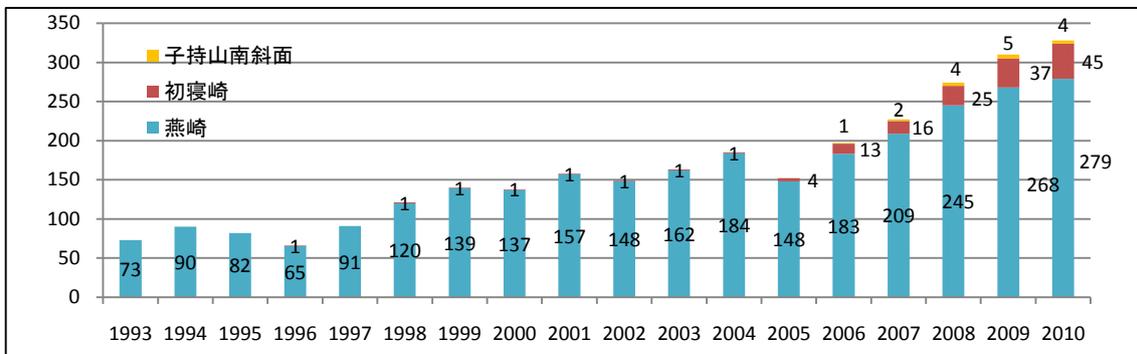


図1 鳥島における2-3月期の確認ヒナ数の推移

- ・ 初寝崎での毎正時(X時00分。7:00～17:00)の平均着地個体数は77.9羽であった。2000年以降着実な増加が見られる(図2)。

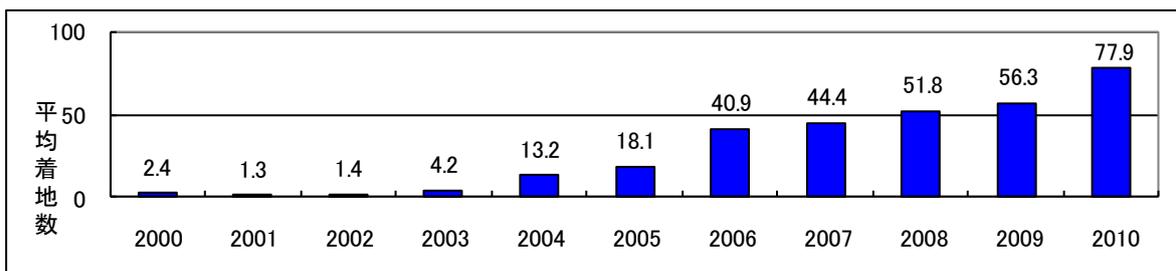


図2 初寝崎における2-3月の毎正時の平均着地個体数経年変化

- ・ 初寝崎で繁殖した45つがいを含めて96ヶ所で特定のつがいの定着又は定着の可能性が認められた(前年79ヶ所、前々年63ヶ所)。このうち21ヶ所は新規に確定したつがいであった。来期の繁殖巣の更なる増加が期待される。
- ・ 北西斜面繁殖地のヒナ45羽に、長谷川教授が金属足環を装着した(2010年4月)。
- ・ 初寝崎の繁殖地では、アホウドリの繁殖障害となるような問題は確認されなかった。



写真1: 初寝崎繁殖地全景(2010年2月13日) 写真2: 初寝崎繁殖状況(2010年2月10日)

## (2) 燕崎繁殖環境の維持改善事業

### ① 背景

燕崎では、繁殖地中央流水路に堆積した土砂が溢れ、2010年2月13日には前夜の雨で新たに西コロニーへ流れ込み、ヒナ10羽(推定)が生き埋めとなった。うち2羽を救出し、2羽の死体を回収した。更なる流入を防止するため、調査員が緊急工事を実施し、約100立米の土砂を掘削。



写真3: 砂に埋もれ救出したヒナ



写真4: ヒナの死体

ヒナの被害発生を受け、繁殖期終了後に土砂対策を実施することとし、分科会委員に諮り、以下の事業を実施。

### ② 実施結果

平成22年5月13日～5月18日(5日間)、7人

平成22年6月12日～6月19日(7日間)、8人

- ・ 繁殖コロニーへの更なる土砂の流入を防止するため、2月に緊急的に掘削した位置を含め、幅5m×深さ2m×長さ80mの中央導水溝を掘削(約800立米)。また導水溝に土砂を誘導するための土嚢壁を導水溝上部に設置。これにより新たな土砂の流入を中央導水溝に誘導することにより、繁殖コロニーへの流入を防止するもの。(写真5, 6, 7)

- 作業は全てスコップ等を用いて人力で行った。砂を掘削場所の両脇に、①鍬で掻き出し、②スコップで投げ上げ、③一輪車で運搬排出し、U字型の溝を掘削。溝の両脇にできた排砂の尾根と溝底部との高低差2mを目安に掘削。
- なお、今回の作業中に土砂に埋まったアホウドリ成鳥の死骸1個体が東コロニーの先端で発見され、土砂流入による被害は西コロニーのヒナのみならず、東コロニーの成鳥にも及んでいたことが明らかとなった。(東コロニー先端での被害発生は2月かそれ以前かは不明。)



写真5: 掘削した中央導水溝(白囲み) (2010年6月)



写真6: 中央導水溝の上流部



写真7: 中央導水溝流入口に設置した土嚢壁

### 3. 今年度事業の実施計画(案)

- ① 燕崎及び初寝崎でのモニタリングにより、昨年度も順調な繁殖が確認されているため、今年度も2～3月期に1回のモニタリングを行う。  
なお、初寝崎の雛へは引き続き4月～5月に足環を装着する(長谷川教授)。
- ② 鳥島では極力人為を排除して観察を続ける方針とするが、特に燕崎繁殖地の土砂流入の状況と繁殖への影響等について注意深くモニタリングを行う。燕崎繁殖地において新たに掘削した中央導水溝は、いずれ土砂で埋まってしまうと予測されることから、当面、燕崎繁殖地への土砂の流入量を減らすため、崖下直下において土砂流路を変更する工事を検討し、実施する。(図3)



図3: 燕崎東側ルートへの流路変更工事(案)